

北陵われら 2023



<http://www.sapporohokuryou.hokkaido-c.ed.jp>

組 番 氏名



北海道札幌北陵高等学校

目 次

学校紹介	新入生に期待すること	1
	札幌北陵高校について	2
	校 歌	4
校内外生活	北陵での1日	5
	学校生活での心構え	6
学習・進路	札幌北陵高校3ステージ制	10
	自己実現のための学習	11
	2期制・定期考査・出欠席のきまりについて	13
	各教科の学習内容	14
	将来の『自分創り』のために	22
施設・設備の活用	図書館の利用について	25
	保健室の利用について	27
	相談室の利用について	28
	北陵を磨こう	29
生徒会・特別活動	北陵の主な校外研修	30
	生徒会は生徒全員が主体的に参加して創り上げる活動です	31
	部活動・外局・同好会	33
	ボランティア活動について	39
	君も北陵生になろう!!	41
	北陵の校内施設	42

新入生に期待すること

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。厳しい高校入試の難関を突破されたことを祝福し、心より歓迎いたします。いよいよ本校の生徒として第一歩を踏み出したわけですが、これからの高校生活に対して、期待と不安が交錯していることと思います。

この「北陵われら2023」には、皆さんが高校生活を過ごす上での規則や予習・復習の仕方、行事や部活動などの課外活動の様子などが詳しく書かれています。この冊子をよく読んで、本校の生活に一日も早く慣れ、有意義な高校生活を過ごすことができるよう期待しています。

さて現代社会はA Iの急速な進化やグローバル化の進展等、めまぐるしく変化し、その先の予測が困難な時代となっています。こうした時代にあって、北陵高校では社会で生き抜くための新しい学力や能力を3年間で身に付けてもらえるよう、「学校教育目標」にこのような生徒に育てて欲しいという願いを、更に「めざす姿」として具体的な行動目標を平成30年度に設定しました。

学校教育目標	1	自己を開く	2	知を啓く ^{ひら}	3	未来を拓く ^{ひら}
めざす姿	1	他者の考えにふれ、自己を成長させようとする姿勢				
	2	先人の知に学び、視野をひろげようとする姿勢				
	3	新時代の担い手としての使命を探り、社会に貢献しようとする姿勢				

そして、本校には「学校教育目標」や「めざす姿」の実現を推進する「スローガン」があります。

スローガン 『自分を、ひらけ。』

スローガンは、学校教育目標の3つのひらくを承けて、「自分を、」「ひらけ。」と強い決意へと促します。自分の人生の主人公は自己であり、社会や他者の影響を受けながらも、最後は自分が変わっていくことが大事です。

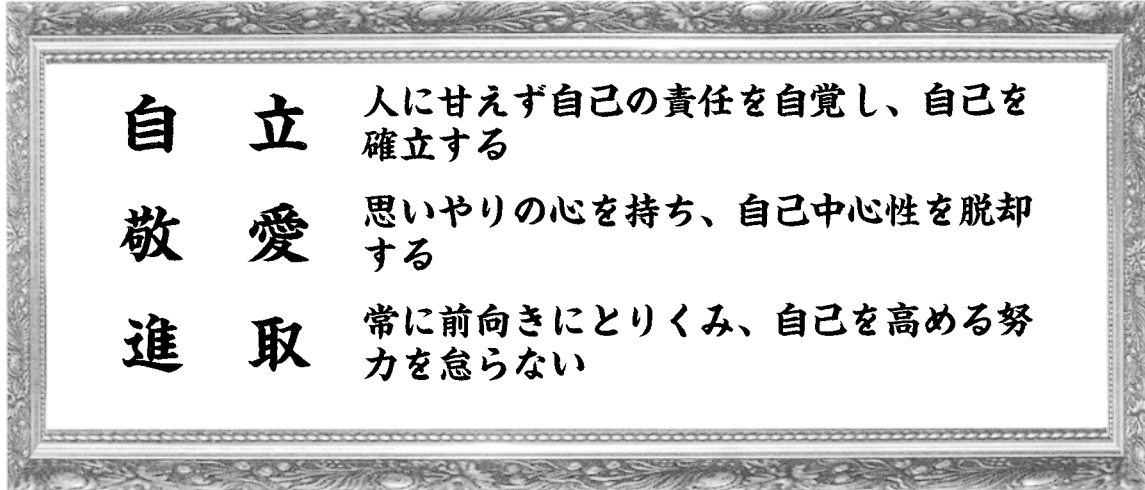
日々の予習・授業・復習、学校行事や生徒会活動、部活動やボランティア活動など、受け身の姿勢で取り組むのではなく、自ら心をひらいて自主的に取り組み、仲間や先生方と共に自分を磨きあげ、社会に貢献できる人に育てて欲しいと願っています。

さあ、これからの3年間、北陵高校で思いっきり、『自分を、ひらけ。』

北海道札幌北陵高等学校

札幌北陵高校について

sapporo hokuryou 校 訓 sapporo hokuryou



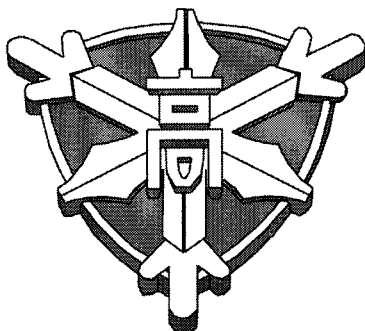
sapporo hokuryou 校 名 sapporo hokuryou



北海道の「北」、北区の「北」と「陵」一丘・山一を示し、新しい学校が「北海道の最高峰を志向して立派な学校に生々発展してほしい」という願いを込めて名づけられたものです。

昭和46年11月27日道立高校の新設を決定すると同時に道教委が道民から校名を公募し、156人の応募の中から石川美奈子さん、石垣公仁子さん、樋爪好雄さんの提案が採用されたものです。

sapporo hokuryou 校 章 sapporo hokuryou



雪の三稜結晶を柱として、北国の郷土性と白雪をもって剛健、質実、勇気、えい智を示し、三稜の三辺とペンの組合せで、学問と北の山（陵）をあらわし、「高」を中心として角の頂点を通して三方に延びる線は、体力、気力、意欲を示すとともに、八方に生々発展することを象徴するものです。

この図案については、元札幌工業高等学校教諭上条一栄先生のご協力によるものです。

『自分を、ひらけ。』

学校教育目標 1 自己を開く 2 知を啓く^{ひら} 3 未来を拓く^{ひら}

めざす姿

- 1 他者の考えにふれ、自己を成長させようとする姿勢
- 2 先人の知に学び、視野をひろげようとする姿勢
- 3 新時代の担い手としての使命を探り、社会に貢献しようとする姿勢

学校教育目標 と めざす姿 に込めたこと

- グローバル化の社会では、個人の力量だけでは解決できない課題が多く、他者と協力して行動できる力「チーム力」が重要です。人は誰もこれまで学んだ知識や経験から自分の考えや価値観を持ち、それにこだわります。しかし、チームに貢献するためには、勇気を持って自分の殻(価値観)を破らなければなりません。北陵高校に入学してまず、そうした自己改革、仲間や先生の考えを聞くことが自分を成長させる「糧」と受けとめられる姿勢をめざします。
- 「先人の知」は教科書であり、先生、先輩、北陵高校の伝統など、いろいろな知を意味します。「知に学び」には、与えられる課題や効率的に点数を取るためだけの学習ではなく、疑問があれば納得できるまで自分で調べ、「揺るぎない知識・技能」を獲得しようとする、ひたむきな姿を込めました。粘り強く学ぶ姿勢をめざします。
- 授業はもとより、学校行事、部活動、ボランティア活動など、いろいろな経験を通して興味・関心や課題意識を持ち、自分のやりがいや社会に貢献したいことを自分から探究して、進路を切り開いていこうとする姿勢をめざします。

校 歌

作詞 瀬戸 哲郎

作曲 横谷 瑛司

Andante
mp

1. は る け き く も や て い ね や ま せ ん じ ん ね む る と
2. は る つ さ り き む ふ し こ へ な が ね や ゆ ま く せ た じ ん ね む る と
3. ま し ろ き む き し こ は ほ ほ を そ め こ ず え に う た と う

み と どん り の に } み ら い を - ひ ら く
と ん の こ え }

ほ う ふ あ れ - } い ら か ぎ ぎ た り { わ が こ う - し ゃ } わ
こ せ っ あ れ - } ら か ぎ ぎ た り { わ が こ お か - べ } わ
ふ せ っ あ れ - } ら か ぎ ぎ た り { わ が こ お か - べ } わ

か き ひ と ゆ め お お く え い ち - に も え て

し し し に ま な ぶ し し し に ま な ぶ あ た け く く - れ - を
し し し こ ろ し し し る し し し こ ろ し し し る し し し ます - し - に
し し し こ ろ し し し る し し し こ ろ し し し る し し し ます - し - に

一、はるけき雲や 手稲山
先人ねむる みどり野に
未来を開く 抱負あれ
いらか巍々たり わが校舎
若き人 夢おおく

二、発寒 伏籠 ながれゆく
豊かなる郷 屯田に
未来を開く 個性あれ
いらか巍々たり わが丘べ
若き人 夢おおく

三、真白き雪は 頬を染め
梢にうたう 鳥の声
未来を開く 不屈あれ
いらか巍々たり わが道よ
若き人 夢おおく
えい智にもえて ひとすじに
身心をねる たくましく
えい智にもえて

真摯に学ぶ あげくれを
えい智にもえて

作詞者 瀬戸 哲郎

東京高師国語卒

元. 札幌藻岩高等学校長

作曲者 横谷 瑛司

東京芸大卒

元. 北海道教育大学札幌分校教授

過度の緊張のもとでは実力を発揮できませんが、学習の根幹は環境と心構えにあるという視点に立ち、適度の緊張感をもって、1時間1時間の授業に臨んでください。私たち教員も、厳しくもわかりやすい授業を全力で行っていきたいと考えています。授業を実りあるものとするためには、毎日の生活のリズムをみなさんが作り上げることが大切です。家庭学習もせず、目的もなく授業を受けるのではなく、「予習をしっかりして、充実した1時間の授業にする」という目標を持って過ごす1日、そして3年間は、みなさんのこれからの人生の大きな礎（いしずえ）になることでしょう。

- ◆8時35分までにホームルーム教室に入り、授業の準備や朝学習などに取り組みましょう。
- ◆帰りのSHRが終了するまで、許可なく校地外にでることはできません。
- ◆始業チャイムが鳴る前に着席して、授業の準備を整えておきましょう。
- ◆机の中などに教科書をおきっぱなしにしないで、必ず持ち帰りましょう。
- ◆自分の成長のため、何事にも全力で取り組みましょう。
- ◆「北陵シラバス」を活用し、科目でつける力・進度・評価方法などを知って、学習への「構え」を作って授業を受けましょう。

日 課 表		
打 合 せ	8 : 20 ~ 8 : 35 (職員室入室禁止)	(15)
S H R	8 : 40 ~ 8 : 50	(10)
1 時 間 目	8 : 55 ~ 9 : 50	(55)
2 時 間 目	10 : 00 ~ 10 : 55	(55)
3 時 間 目	11 : 05 ~ 12 : 00	(55)
昼	12 : 00 ~ 12 : 45	(45)
4 時 間 目	12 : 45 ~ 13 : 40	(55)
5 時 間 目	13 : 50 ~ 14 : 45	(55)
6 時 間 目	14 : 55 ~ 15 : 50	(55)
S H R	15 : 50 ~ 15 : 55	(5)

生活の規律（ルール・マナー）

社会では、人間がお互いに生活していく中で、人に迷惑をかけないように法・規律など規範意識を持って責任ある行動が必要とされます。北陵生として充実した高校生活を送るために、しっかりした生活習慣を身につけることが大切です。北陵高校という集団の中で、一人一人が、品格・品性を向上させ、北陵高校の看板を背負って生活していることを自覚し以下の規律をしっかり守ってください。

1. 服装・頭髪の違反をしない（詳細は新年度に説明します）

〈服装について〉

◆本校指定の制服を正しく着用すること

- ① 男子のネクタイ、女子のリボンは下げて着用しないこと。
正装期間は、校内外問わず、必ず着用すること。
忘れた場合は、朝のうちに担任に申し出て借りること。
- ② 女子は、スカートを短く折って着用しないこと。
〔膝が隠れる長さ～膝下（膝蓋骨下限）10cm基準〕
- ③ ワイシャツをズボンやスカートの外に出して着用しないこと。
- ④ 男子はズボンをずり下げて着用しないこと。
- ⑤ 女子のストッキングは、黒・紺・ベージュとする。
- ⑥ ソックスは、黒・紺の無地とする（ただしワンポイントまで可）。
- ⑦ 冬季においてストッキングまたはタイツの上に防寒対策としてソックスを履く場合は、黒・紺の無地とする。

◆夏季略装について

- ① 夏季（6月中旬より9月末）は、ブレザーを着用しなくてもよい。
- ② ポロシャツの裾は出して着用してもよい。
- ③ ポロシャツの衿は立たせないこと。
- ④ ワイシャツはノーネクタイ、ノーリボンでもよい。
- ⑤ 詳細は、別途通知する。

◆ニットのセーター・カーディガン・ベストの着用について（着用期間については別に定める。）

- ① 色は、白・黒・紺・グレーの無地とする。柄物は禁止です。
- ② ブレザーからはみ出さないように体型にあったものを着用すること。
- ③ 女子スラックスの着用を認める。（スラックス着用時はネクタイ）
※違反制服（ブレザーやスカート丈を短くした場合等）着用の場合、改善されなければ生徒支援G預かりとし新しい制服を購入してもらう。

〈履物について〉

- ① 外靴は、通学にふさわしいものとする。
- ② 上靴は、学校で指定したものとし所定の場所に記名すること。かかとを踏まないで履くこと。（危険防止です。）
- ③ 指定の下足ロッカーを使用すること。
※上記基準以外のものを着用しなければならない時は、異装届を提出すること。

〈頭髪・装飾品・持ち物について〉

- ① 頭髪は清潔・端正を基本とし、染髪・パーマ等の加工は禁止です。
ドライヤーやヘアーアイロン等のかけ過ぎによる変色が認められ、学校生活や進路活動等において改善すべきと判断された場合は頭髪の改善を要します。
- ② 化粧やピアス・ネックレス・指輪・マニキュア・つけ毛・カラーコンタクト等の使用は禁止です。
- ③ 学習に必要なものは学校に持ってこないこと。(遊具類、雑誌、漫画等)
違反者については、改善されなければ担任預かりとします。
- ④ 携帯電話の使い方に関しては後日指導の機会があります。
- ⑤ 身分証明書は、必ず携帯すること。

2. 校内生活について

- ① 欠席・遅刻・外出・早退の際には担任に連絡すること。
- ② 午前8時35分のチャイムが鳴る前に入室・着席していること。
- ③ 朝SHR時の遅刻の場合は、職員玄関から入り、手続きをして速やかに教室に入ること。
- ④ 1校時が始まってから登校する場合は、最初に職員室に行き、担任あるいは学年の先生に入室許可書をもって教室に入ること。
- ⑤ 授業開始のチャイムが鳴る前に着席し、授業の始めと終わりの礼は起立して行うこと。
- ⑥ 礼儀作法(挨拶・言葉遣いなど)に心がけ、職員室・来客者のマナーを考えて行動すること。
(職員室に入室する際、オーバー・コート類を脱いで入室すること。)
- ⑦ 始業時から放課後までの間、生徒玄関からの出入り及び無断で校地外に出ることは禁止です。通院等、特に外出の必要がある場合は、担任に申し出て手続きを取り、職員玄関から出ること。
- ⑧ 貴重品や金銭はなるべく持ってこないこと。持ってきた場合は、体育時や行事や部活動の際、必ず係の先生や担任・顧問に預けるか、責任を持って自己管理につとめること。(もし盗難に遭った場合は、速やかに先生方に報告することと盗難事故報告書を提出すること。)
所持品には、必ず学年・組・氏名を明記すること。
- ⑨ 拾得物や遺失物は速やかに先生に届けること。
- ⑩ 公共物を大切に使用すること。落書きやシール類を貼ったり絶対にしないこと。
(机・椅子・壁・ドア・カーテンなど)
※公共物を破損した場合は、速やかに先生方に報告すること。
- ⑪ 最後に教室を出る生徒は、窓を閉め、カーテンを戻し電気を消して帰ること。
※授業で教室を空ける場合も節電すること。
- ⑫ 集会時は、身だしなみを整え、スムーズに移動・整列し、厳粛な態度で臨むこと。
- ⑬ 特に許可された物(体育着など)以外の私物は教室に置かず持ち帰ること。
- ⑭ 休日に登校する場合も制服を着用すること。(部活及び指定ジャージは可とします。)

3. 校外生活について

- ① 外出の際は、身分証明書を携帯すること。
- ② 午後9時以降の外出は控え、午後10時には帰宅すること。

〈特別指導となる問題行動は起こさないこと〉

- ① 飲酒・喫煙・万引き・暴力行為などの問題行動は絶対にしないこと。
- ② シンナー・大麻・覚醒剤などの薬物には絶対に手を出さないこと。
- ③ 携帯電話やインターネットの使用に際してはルールやマナーを遵守すること（誹謗中傷の書き込みをしない、出会い系サイトなどの危険なサイトには近づかない等）。
- ④ 学生であることをしっかりと自覚し他人に迷惑をかけない、かけられないという強い意志を持ち、自分の行動に責任を持つこと。

※特別指導の問題が生じた場合は、家庭及び生徒支援G・学年全体で指導されることになります。

〈アルバイトはしない〉

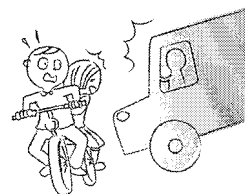
- ① アルバイトは原則として禁止です。学校生活や学習に専念すること。
- ② 家庭の経済的事情等やむを得ない理由がある場合は担任に申し出ること。

4. 自転車通学・バス乗車のルールを守る

〈自転車通学について〉

- ① 信号無視・二人乗り・無灯火・並列走行・傘さし運転・逆走・ヘッドホン（イヤホン）を使用しでの運転、携帯電話を使用しながらの運転は交通違反です。

上記のルールを違反した者については、自転車通学の許可を取り消される場合があります。



- ② 登下校には時間に余裕を持ち、交通ルールを守り事故に遭わないよう十分注意をすること。

（もし事故に遭った場合は、速やかに警察や学校に連絡すること。その後、事故報告書を提出すること。）

- ③ 自転車通学をする場合は、点検整備をし、許可願を提出して指定のステッカーを貼ること。
（ステッカーの無い自転車は未登録車として通学を認めない。）

- ④ 自転車は学年指定の駐輪場に、整頓して奥から順に置くこと。（学校以外に駐輪しないこと。）

- ⑤ 自転車の利用期間は、学校の指示に従って守ること。

- ⑥ 自転車盗難防止のため、ステッカー貼付と丈夫な施錠（二重ロック）をすること。

（もし盗難に遭った場合は、速やかに先生方に報告することと盗難事故報告書を提出すること。）

〈バス乗車マナーについて〉

- ① 乗車時には、速やかに奥から順に詰めて乗ること。

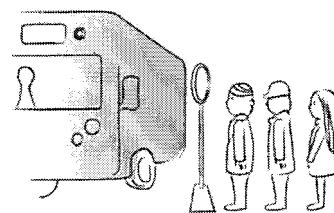
（乗務員の指示に従うこと。）

- ② 一般の乗客の方が、不快感を持つような行為は絶対にしないこと。

（大声で笑ったり話をしたり、座席にカバンを置いたりしないこと。）

- ③ 冬期はバスが遅れることが予想されるので、早い時間帯のバスに乗るように

心がけること。また、車内ではリュックを手で持つか足元へ置き周りの人の迷惑にならないようにしましょう。



〈運転免許について〉

- ① バイク・自動車の免許取得は原則として禁止です。
- ② 保護者以外が運転する車両での登下校は禁止です。

※【自動車免許取得等について】

- ◆やむを得ず必要があって、免許を取得するときは、事前に、本人及び保護者が担任と相談し、所定の手続きをすること。
- ◆やむを得ぬ事情とは
 - ア、卒業後の進路（就職）が内定（決定）しており、かつ、保護者から運転免許取得許可（以下「許可」とする。）の要請がある場合。
 - イ、家業に従事しており、かつ、保護者からの許可の要請がある場合。
- ◆運転免許を取得する時期は、原則として3年の家庭学習期間からとする。
- ◆バイク、自動車等の車両運転は卒業まで認めない。
- ◆次に該当する行為があったときには、保護者来校のもと、学校の本旨に則した指導と協力を要請するとともに、運転免許証については保護者の責任の下、卒業まで管理する。
 - ア、無届けでバイク、自動車等の運転免許を取得したとき。
 - イ、無届けでバイク、自動車等の車両運転の事実があったとき。
 - ウ、「車両による暴走行為」「加害事故」（同乗を含む）等の事実があったとき。

行動を規制する規範がある。

社会では、わがままが通じない歴然としたルールが存在する。

マナーの基本要素は「表情・動作・姿勢・身だしなみ・

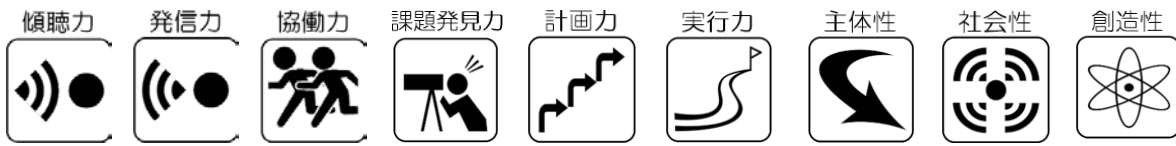
言葉遣い」良いマナーを身につけるには、

良い生活習慣を身につけること。

札幌北陵高校 3 ステージ制の概要

3年間の学習を通して身に付ける資質・能力

北陵高校では、あらゆる教育活動を通じて、9つの資質・能力を育成することを目指しています。



第1ステージ【基礎育成期】

- 1年～2年前期までの1年半の期間
- 2年6月に文型か理型かの類型選択を決定するので、それまでに自分の適性を把握し、将来の進路を考える時期

第1ステージの目標

- ◆ 本校の授業サイクルに慣れて、予習－授業－復習、課題提出など学習についていくことができる
- ◆ 家庭学習が習慣化している北陵生になる
- ◆ 国語・数学・英語の基礎力を固める

第2ステージ【実力伸長期】

- 2年後期～3年前期までの1年間
- 自分で決めた進路目標に向かって実力を伸ばしていく時期
- 第2ステージから、文系国公立大学への進学に対応した文型と理系国公立大学への進学に対応した理型にクラスが分かれて学習する

第2ステージの目標

- ◆ 基礎育成期に身に付けた国語・数学・英語の基礎力に加え、地歴公民・理科の学習を本格的にスタートさせる
- ◆ 基礎力が不足していると自覚している場合は半年間のうちに基礎固めをする
- ◆ 与えられてする勉強だけでなく、自分でやるべきことを計画的に勉強できるようになる

第3ステージ【進路達成期】

- 3年後期の約3ヶ月間
- 進路目標の実現に向かって最高の努力をする時期

第3ステージの目標

- ◆ それぞれの進路目標を達成するために全力で取り組むことができる
- ◆ 先に進路が決定した生徒も仲間の進路実現に協力し、“受験は団体戦”を合い言葉に全員で進路を勝ち取る

快適で効果的な学習プラン

高校での学習は、単なる知識獲得ではないと考えます。多分野に渡る学習活動を通して、幅広い視野で物事を考えたり見据えたりできる人間になるための、本来的な知的活動と考えます。つまりは、より豊かで深みのある「人間形成」を目指していると言えるでしょう。同時に君達自身が描いている、「将来設計」を実現させるためのものとも考えます。つまりは、「進路実現」をも目指していると言えるでしょう。

「人間形成」と「進路実現」すなわち自己実現のための学習と考えてください。

自己実現を目指した学習活動が成果をあげるためには、授業を中枢に据えた**予習→授業→復習→予習**という**学習の基本サイクル**を確立し、それを維持することが必要です。特定科目に偏ることなく、文系科目・理系科目のバランスの取れた学習プランを設計しましょう。また、計画を実行するためには、あまり学習だけを詰め込むことなく、適度にインターバルを取り入れることを心がけてください。

新しい環境で、新しい生活に早く慣れるためにも、**快適で効果的な学習プラン**を作り、それを実践することが大切です。早速一週間のプランニングに入ってみましょう。

学習プランニング ～授業、部活動、家庭学習、自分の時間を上手く回すための1サンプル～

- 部活動をしている生徒は上手く時間をやりくりして学習時間の確保に努めましょう。
- 授業に集中すること、そして、朝の時間を有効活用するのが良い方法です。
- 早寝早起きをベースにして生活のリズムを早く固めることが大切です。OnとOffをしっかり切り替えて、集中して学習しましょう。

月曜日～金曜日		土曜日		日曜日	
6:30	起床	7:30	少しゆっくり起床	7:30	少しゆっくり起床
7:30	家を出る	8:15	家を出る	8:15	家を出る
8:15	早めに登校	9:00	部活動	9:00	部活動
	朝学習に取り組む	13:00	帰宅 昼食	13:00	帰宅 昼食
8:40	SHR		ちょっとひと休み		『今日はゆったりMy Time』
	1～6校時 授業	15:00	『一週間の総復習Day』		・友達とショッピング、カラオケ
15:50	SHR		国語、理科、社会など普段時		・家でじっくり読書をする
	部活動で思いっきり汗を流して		間を取れない教科を中心に、		・録りためたビデオを観る
19:15	下校		じっくりと取り組む時間。	18:00	家族と一緒に夕食
19:45	帰宅 食事 風呂	18:00	家族と一緒に夕食		リラックスタイム
	ちょっとひと休み		自由時間	21:00	まだ終わっていない週末課題、
21:00	数学のプリント	21:00	英語の週末課題		明日の予習。土曜日に終わらせ
22:00	英語の予習	22:30	自由時間		ていればとても楽！
23:00	明日の準備	24:00	就寝	22:30	明日の準備
	CDを聞いてリラックス			23:00	一週間に備え、少し早めに
23:30	就寝				お休みなさい
	ぐっすりとお休みなさい				

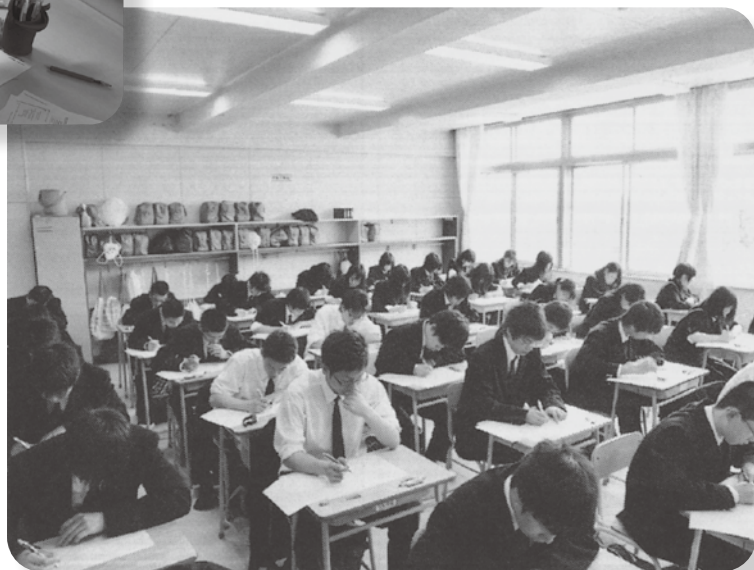
科目に十分習熟していないうちは、自分の時間と自分の力を使った予習・復習には自ずと限界があります。とりわけ1年生のうち、「予習はアップ」「復習はフォロー」と考えてください。「本番」は「授業」。先生方は君達の**自己実現**をサポートすべく、誠心誠意**授業で勝負**に臨みます。どうか、その熱い思いを真剣に受け止めてください。君達自身も**授業で勝負**に臨んでください。

「北陵われら」の「各教科の学習内容」には学習概要が、「シラバス」には具体的な学習内容と進度が載せられています。それらを参考に、また、実際の授業を通して科目の「特徴」や「学習法」を研究し、個々の科目の授業展開の仕方、資料やノートの処理法などを早期につかむことが大切です。また、分からないことを放っておくことだけは止めましょう。授業中にチャンスがあれば授業中に、なければ休み時間や放課後に、担当の先生に質問してください。分からないことを溜めないで、納得がいくまで遠慮なくどんどん質問してください。クラスの「オーソリティ（専門家）」にアプローチすることも良い方法です。先生方や仲間に助けられながら、分かる自分を作っていきます。分かることが増えていけば、「アップ」や「フォロー」の質が高まり、授業への臨み方も変わっていくこと、間違いなし。

主体性と気概とを携えて、教室に「いる」自分、「真面目な書記さん」を越えて、君の自己実現を目指して、**授業で勝負！**



放課後、職員室前の廊下では、質問にきた生徒が納得がいくまで、先生に質問をして勉強しています。



定期考査の様子

sapporo hokuryou 2期制・定期考査・出欠席 sapporo hokuryou
のきまりについて

◆2期制と評価

1. 本校では、1年を前期と後期にわけて授業を行い、学期ごとに学習評価をつけます。
2. 成績は、定期考査の点数と授業や家庭学習や授業内での取り組みを点数化した活動点をあわせた100点満点の評価点でつけられます。
3. 学習成績の評定は評価点に応じて以下の表のように「5」～「1」の5段階でつけられます。
4. 評定が「1」となった科目は、単位の修得が認められません。
5. 評価・評定の基準は次のとおりです。

目標達成度	評価点	評定
特に高い程度に達成しているもの	77～100	5
高い程度に達成しているもの	65～76	4
おおむね達成しているもの	45～64	3
達成が不十分なもの	30～44	2
達成が著しく不十分なもの	0～29	1

◆定期考査と一斉テスト

1. 定期考査の日程
 - 前期 中間考査 6月中旬
 - 期末考査 9月中旬
 - 後期 中間考査 11月下旬
 - 期末考査 2月下旬（第3学年を除く）
2. 学習確認テスト（国数英の一斉テスト）の日程
 - 前期 夏季休業明け
 - 後期 冬季休業明け
3. 考査時間割は10日前までに発表し、定期考査の1週間前より部活動は原則として停止します。
4. 正当な理由で定期考査を受けられない場合は、追考査を受験できます。
5. 定期考査で不正行為が発覚した場合は、当該科目の成績は0点となり、追考査は受験できません。

◆出欠席のきまり

1. （出席日数）進級認定の条件として、その学年における出席しなければならない日数の80%以上に出席している必要があります。
2. （出席時数）単位修得の条件として、その科目の学期ごとの標準授業時数の80%以上に出席している必要があります。
3. （忌引日数）忌引日数は、死亡の事実を知った日から算定して、次のとおりです。
 - (1) 父 母 7日 (2) 祖父母・兄弟姉妹 3日
 - (3) その他の親族 1日 (4) 年忌法要 1日
4. （特別欠席）次の場合は特別欠席とし、ホームルームは出席、教科・科目は欠課の扱いとします。その主なものは、
 - (1) 高体連・高野連・国体関係の大会に本校代表として出場する場合
 - (2) 高文連の主催する大会に本校代表として出場する場合
 - (3) 学校が認めた進学・就職のための受験の場合

ここでは、北陵高校3年間の各教科の学習内容を、おもに学習の心構え、予習や復習のしかた、という観点から紹介してみましょう。

国 語

北陵高校で学習する国語の科目は次のようになっています。

◆現代の国語・言語文化（第1学年）

1年生で学ぶ国語は「現代の国語」と「言語文化」の2科目です。

「現代の国語」は評論文（中学校時代は「説明文」）を中心に、現代から未来に向けての生き方、考え方が述べられているさまざまな文章を扱います。当然のことですが、中学校で学習した文章に比べると、難解で複雑な文章に接することになります。そうした文章を理解するためには、ぜひ語彙力を向上させることを心がけてください。日常生活の中で初めて聞く言葉、聞いたことはあるけれど、意味がよく理解できていない言葉、そのような言葉に出会ったときに、こまめに意味を確認する作業を習慣づけてください。これが高校の国語の学習を理解するための第一歩です。

また、評論のほかに、レポートや官公庁の発行する文章や規約などの文章を扱うケースもあります。いずれの場合でも、単に文章内容を読解するだけではありません。読解したことをもとに、他の生徒たちと意見を交わし合うことで自分の考えを深め、その考えを的確に表現できる力が求められます。

「表現」にかかわることも大切な要素です。「表現」とは読んだり聞いたりしたこと、自分で考えたことを書いたり、話したりして、自分から情報を発信するという作業です。簡単そうに思えるかもしれないかもしれませんが、その場その場に応じた、適切な言葉づかいで（場合によっては見ず知らずの人にもわかるように）何かを表現するということは、たやすいことではありません。授業を通じて、話したり、書いたりするコツをつかんでもらえることを願っています。

「言語文化」は小説・詩歌などの文学作品や随想、古典の文章（古文・漢文）を中心的教材として学習します。特に古典は、皆さんが日常的に使っている現代語とは言葉、文法が異なっているために、理解に苦しむ場面が多いかもしれません。しかし、さまざまな表現を細かく見ていくと、現代語に通ずる部分が「随所」（どんな意味でしょう？）に見られ、やはり古典の文章が現代語の礎となっていることがよくわかります。そのことに気づくと、古典が面白く感じられるようになり、言葉が文化の大きな一要素であることが実感されるはずです。

学習に関しては、古文でも漢文でも、まずは「声に出して読む」ことを習慣づけましょう。古典文特有の言い回しやリズムを体に覚えさせることで、難しい（とされる）文法や句法の理解がスムーズになります。また、現代文と同様、初めて見聞きする単語が数多く登場します。それらについても面倒がらずに辞典で確認することが必要です。ついては、皆さんには「古語辞典」をぜひ用意するよう、お願いします。どのような辞典がよいかは、授業の中で説明します。三年間、辞典を「友」とできるようなことを期待しています。

◆論理国語・古典探究（第2学年、第3学年）

ともに、現代の国語・言語文化の内容と基本的には変わりません。文章が長くなったり、専門的な言葉が多用されたりして、難解な文章も多くなりますが、1年次の学習で基礎が身につけていけば問題はありません。学習方法についても同様です。

◆文学国語（第2学年、第3学年 選択）

3年次において、現代文分野における小説、古典をさらに踏み込んで読解する力を養うための科目です。

◆地理総合（1年前期必修）・歴史総合（1年後期必修）

1年生では地理総合（前期必修）と歴史総合（後期必修）どちらも必修科目で、私たちを取り巻く環境や過去の出来事についての地理的・歴史的な見方・考え方を学ぶ科目です。この見方・考え方を生かし、君たちが設定する現代の諸課題を追求する活動も行います。この科目は、第2学年で開講される地理・世界史・日本史の探究科目につながり、探究する力を身に付けられる、学び方を学ぶ科目なのです。

◆地理探究（2年後期選択、3年選択）

地理探究は、何故そのような特徴が現れるのかを、地形や気候、民族、文化、交通などといった様々な観点から考え、地誌も交えて総合的に理解していきます。また、地図や写真に加え、グラフや表など統計の利用が多くなるのも特徴です。次の3点を踏まえて学習しましょう。

1. 教科書や資料集、特に地図帳をよく活用することが大切です。
2. 板書事項をノートに写したりプリントに書き込んだりするのはもちろん、説明されたことをよく聞いて、ノートやプリント、地図帳などに書き込みをしていきましょう。
3. 考査直前の勉強だけでは力がつきません。短時間でもこまめに復習するようにしましょう。

◆世界史探究（2年後期選択、3年選択）

世界史探究は、日本を含めた世界の国々の歴史について学びます。ヨーロッパ世界、西アジア世界、南アジア世界、東アジア世界を中心に、それぞれの地域がどのように成り立ち、どのように影響を与え合って現在のグローバル社会が形成されたのかを学びます。単なる丸暗記ではなく、“分かって覚える”、“覚えた知識を使って考える”ことを目指すため、史料の読み解きや、学んだことを仲間の説明する活動を授業の中で行います。そのためには、歴史用語の正確な理解と基本的歴史知識の確実な定着が欠かせません。以下の3点に気をつけて学習しましょう。

1. 授業中は説明をしっかりと聞き、メモを取って事件や人物などの歴史的用語をしっかりと理解しましょう。
2. 家へ帰ってから必ず復習しましょう。授業の内容を整理し、知識を定着させていきます。
3. 単なる丸暗記にならないように、出来事と出来事を関連付けて大きな物語として世界史の歴史を捉え、また本当に理解できているかどうかを自分の言葉で根拠を持って説明できるようになりましょう。

◆日本史探究（2年後期選択、3年選択）

日本史探究は、原始から現代までの日本列島とそこに住む人びとの歩みについて、資料を活用し多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養います。そして学習をとおして現代の日本の諸課題を見出して、その解決に向けて考えることができる資質や能力を高めます。そのためには、自分自身が学習する前に学習の目標＝問いを持ち、学習の過程を振り返り、よりよい方向に改善していく力も必要です。新しい学習のスタイルに対応できるような柔軟性をもって授業に臨みましょう。

◆公共（2年前期必修）

公共は、これから厳しい挑戦の時代を迎える日本で生きていく子どもたちが、社会や世界に向き合い、関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために必要な資質・能力を効果的に育むことを目標とする科目です。人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせて、様々な社会の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会で主体的に生きる資質・能力を身につけていきましょう。

◆政治経済（2年後期選択、3年選択）

政治経済では、世の中で起こっている様々な問題に対処するための見方・考え方を身に付けることで、将来、社会を形成する公民として必要な力を養っていくことを目標としています。TVや新聞でスポーツや芸能だけでなく、世界や日本の政治経済情勢にも関心を持ってください。今、実際に起きている様々な出来事がどのような法的・経済的情勢を背景としているのかを考えましょう。

◆倫理（2年後期選択、3年選択）

倫理では、自分の在り方生き方を深く考えたり、日常生活を送っていく上で決断を迫られた時に、偏った見方をしないように、考える材料と方法を身に付ける科目です。いわば、社会的な規範とされる道徳（moral）の根拠となる理論が倫理（ethics）です。授業では、今みなさんが過ごしている青年期について考えたり、先人たちの思想を手がかりに自己と他者の関係について思索を深めたり、現代の諸課題について探究します。

◆基本的な心構え

「数学は高学年に進むほど難しくなる」とよく言われます。「小学校の算数より中学の数学の方が難しい。中学の数学より高校の数学の方が難しい。高校の数学より大学の数学の方が難しい」さらにもうこうも言われます。「数学は積み重ねの学問で前に習ったことをきちんと理解しておかないと、次の学年に進んだときに理解できなくなる。もし小学校の算数や中学の数学を理解しないまましていると高校の上級生ともなると数学で零点を取る者がぼつぼつ現れる。」これって本当の話でしょうか？このような話が本当だとしたら、数学で一度つまづいた者は永遠にわからないで終わってしまうことになります。

しかし、中学生時代に数学が苦手であっても北陵高校に入ってから得意になる生徒を私たちはたくさん見てきました。入学してから一生懸命頑張った生徒たちです。これまで数学が苦手だった人は、北陵高校でしっかりと勉強して、得意になってください。数学が好きな人は、さらにその能力を伸ばしてください。数学は勉強すればするほど興味と自信が湧いてくる教科です。心機一転、高校の数学に挑戦してください。

1. 授業に集中し、課題は確実にこなすこと。
2. わからないこと、疑問などを解決しようとする意欲を持ち続けること。
3. 常に興味のアンテナを張り、チャレンジする気持ちを持つこと。

◆学習の内容について

【1学年】

数学Ⅰ……数と式、2次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析

数学A……場合の数と確率、数学と人間活動、図形の性質

【2学年】

数学Ⅱ……式と証明・高次方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分と積分

数学B……数列、統計的な推測

※後期から類型別にクラス編成されます。

【3学年文理共通】

数学C……ベクトル、平面上の曲線と複素数平面

【3学年理型】

数学Ⅲ……関数と極限、微分法、積分法

※理系に進学するための必須科目です。

数学応用

※既習範囲の総復習をしてより内容を深め、大学入学共通テスト等に対応できる実力を養います。

【3学年文型】

数学研究Ⅰ

※既習範囲の総復習をしてより内容を深め、大学入学共通テスト等に対応できる実力を養います。

◆物 理

中学校で勉強した理科の中には、力・仕事・熱・磁石などの分野が含まれています。物理ではこれらの分野についてさらに詳しく勉強します。中学校との一番の違いは、物理的自然現象を全て文字を使った数式で表すことです。例えば仕事について中学校では性質だけ説明されます。同じ事を高校では「物体に加えた力の大きさを F 、移動した距離を x とすると仕事の大きさ W は $W = Fx$ で表される」と説明します。そして、 F や x のことを物理量といいます。この後、 F や x に数値を代入し W を求めることもあります。また物理では数式に対する展開力や応用力、計算力などが要求されます。中学校までと違い、現象の説明を理解するだけでは不十分です。また数式や計算を道具として使いこなす能力も要求されます。

◆化 学

化学では、物質の性質と変化を勉強します。全ての物質は「原子」と呼ばれる粒子からできていて、物質の性質や変化はこの「原子」の性質と深く関係します。化学の授業はこの「原子」の構造と性質から始まり、イオンや分子、物質の状態や変化へと進んでいきます。高校化学は内容も豊富になり高度なものへと進んでいきますから、基本をきちんと積み上げていく勉強が必要となります。そのためのポイントは二つです。

- 1 基本事項を確実に理解する。化学の基本事項は元素記号、化学反応式、化学式、法則、公式などです。これらの理解なくして化学的な現象の考察はできません。
- 2 理論的な思考力を身につける。化学は覚える事柄も大事ですが、様々な事象を理論的に理解し、説明する力が必要となります。

化学反応や諸現象は身の回りにたくさんあります。楽しく興味を持って勉強しましょう。

◆生 物

生物学は生命についての科学です。生命現象を理解し、自然を知ることは人間の営みにとって欠かせないものであると共に、人生をより豊かにするものです。現在、遺伝子組換え、クローン、ヒトゲノムの解析、再生医療など、生物学はめまぐるしい速さで研究が進み、医療分野をはじめ、我々の生活にも大きな影響を与えています。またその結果、様々な問題も生まれています。そのような中で、種々の問題を冷静に判断できる正しい知識を持つことが必要であると考えます。高校では生物を色々な角度から考察していきます。構造、生殖、遺伝、行動、進化、環境、さらには生命の営みを科学的な観点から総合的にとらえていくことが重要です。ダイナミックな生命のドラマを一緒に学んでいきましょう。

保健体育

1 教科と科目

保健体育科は「保健体育」という「教科」の中に「体育」・「保健」という「科目」が含まれています。

2 目標

保健体育科のそれぞれの科目に目標があり、次のようになっています。少し難しい表現ですが確認して下さい。

「体 育」…「体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する」

「保 健」…「保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する」

3 学習内容と授業数（単位数）

「体 育」…「体づくり運動」、「陸上競技」、「器械運動」、「武道（柔道）」、「ダンス」、「球技（バレーボール、バスケットボール、サッカー、硬式テニス、ソフトボールなど）」などの実技と「体育理論」という知識を学びます。1年生では、1年間を通じて週3時間（通年3単位）2・3年生では、前期、後期それぞれ週2時間（2単位）行います。

「保 健」…「現代社会と健康」、「安全な社会生活」、「生涯を通じる健康」、「健康を支える環境作り」という知識を学びます。1・2年生のそれぞれの学年で、1年を通じ週1時間（1単位）行います。

4 学習の進め方

- (1) 指定されたジャージ・Tシャツ・ハーフパンツ・シューズを使用します。
- (2) ジャージ等は必ず指定のジャージバッグに入れて持ち運びます。外靴についても必ず袋（指定）に入れて持ち運びます。
- (3) 体育の授業を受けるときは、休み時間のあいだに速やかに更衣室へ移動して指定の服装に着替え、開始のチャイムが鳴るまでに活動場所（グラウンドなど）に整列できるように行動しましょう。
- (4) 事情があり見学しなければならない場合は、授業前に必ず教科担任に理由を申し出て許可を受けましょう。終了後は見学課題を提出しましょう。
- (5) 各クラス男女1名ずつ「体育委員」を選出し、授業のリーダーとして活動してもらいます。

芸術科

本校では1学年で音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰの中から1科目を選択して学習します。また2学年後期からは、文型の生徒で進路に関わって実技が必要な場合に限り、更に実践的な学びを深める授業も選択することができます。

◆音 楽

音楽は、“時間的芸術”と呼ばれ、生まれた瞬間に消えてゆく。大変に儂いものではありませんが、そこには音楽にしか表現できない世界があるのではないのでしょうか。

高校で行う音楽の学習は、小・中学校で学んできた基礎的な知識・技能を土台として、さらに発展させた内容となります。芸術的作品を教材とし、幅広い活動を行うことで、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。

様々なものに興味を持ち、積極的な態度で学習に参加してください。

◆美 術

「色を塗るのが苦手」、「上手く作れない」など、苦手意識を持っている人もいます。しかし、そんな苦手意識のために「ものを作ること」から逃げることは、たいへん損なことです。高校で学習する美術は、確かに小・中学校で学んできた表現能力を高めることはもちろんですが、もっと「表現する」「作る」ということは何なのか、表現することの意義・楽しさの根本を学びます。音楽、書道と比べると圧倒的に自由度が高く、だからこそ個人の感覚、能力、責任が問われます。

気合い入れて制作してください。

◆書 道

漢字は、今から3千数百年前に中国で生まれ、その後、日本にも伝えられました。さらに日本では、独自の美しい仮名が生まれました。手書き文字には、単なる記録を超え、いつの時代にも美を求める心がはたらいていたのです。筆や墨を用いて生命感あふれる表現が展開され、すばらしい芸術作品が生まれてきました。書はまさに「瞬間に燃焼した生命の軌跡」です。

これからは、書のいろいろな美しさを追求し、芸術としての立場で学習していきます。中国や日本の書に残る名筆の鑑賞や「臨書」「創作」を通して、自分の眼で美を発見し、感動を大切にしながら、自分の思いにかなったすばらしい自己表現を目標とします。

書道の学習の意義は、自己を高め、豊かにすることにあります。

高校での英語の授業は、中学校での英語の授業に比べて、学ぶべきことが増え、内容が抽象的になり、格段に難しくなります。しかし、過度に心配したり不安になったりする必要はありません。やるべきことをしっかりやっていたら、必ず伸びていきます。1年生で学ぶ英語は、高校で学ぶ英語の基礎となります。中学生の時に英語が得意だった人も、苦手だった人も、謙虚に学習に取り組んでください。

何を学ぶか

「英語コミュニケーションⅠ」では、英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養います。「読む・聞く・書く・話す」ための技能を総合的に扱います。

「論理表現Ⅰ」では、英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。

どう学ぶか

高校では英語をどう学ぶかにあたって、いくつかアドバイスをしておきます。

▶英語は毎日勉強するもの

言葉というものは毎日学習しなければ身に付きません。英語の授業はどの学年でも毎日あります。復習を欠かさずに行ってください。英語の学習に復習は必須です。

▶英語をどう取り込む

方法のひとつに音読があります。具体的な音読の方法は授業で説明しますが、音読には絶大な効果があります。まずは教科書のQRコードを読み取って音読することから始めてみましょう。

何度も音読して英文が頭に入ってきたら、今度はその英文を書いてみましょう。わかったつもりでいても、実際に書いてみると書けない部分がたくさんあることに気が付くでしょう。そういう部分をひとつひとつ理解していくことでしか、英語で自分の言いたいことを正しく表現できるようにはなりません。

▶辞書を使いこなす

辞書は単に調べるためのものではありません。高校では単語の意味を知っているだけでなく、その単語をどう使うかが大切になってきます。英語を学んでいく上で、辞書を使いこなせるかどうかは大きなポイントです。

▶わからないところは聞く

授業で理解できなかったことは質問してください。わからないところをわからないままにしておくと、さらにわからないことが増えていきます。ひとつひとつ地道に解決していくことが大切です。

▶英語はすぐには伸びない

英語は勉強してもすぐには伸びません。自分で身長が伸びていることに気が付かないように、自分では英語力が伸びていることに気が付かないかも知れません。しかし、しばらくして振り返ってみると伸びていることに気が付くものです。特に英語の苦手な人は、焦らずに地道に頑張りましょう。

家 庭

◆学習のねらい

ひとりの生活者として、生活的自立をするために身につけなければならない基礎的な知識・技術を取り扱います。

◆学習内容

科目：家庭基礎（2年次履修）

自ら課題を見だし、解決を図る問題解決学習です。常に生活への関心を持ち、今の自分を見つめ直し、これからの家庭生活の充実向上を目指しています。

また、より具体的に学習するために、各領域に応じて実験・実習・視聴覚教材などを取り入れて行います。

◆学習のしかた

1. 教科書、ノートなど指定されたものを用意し、授業に忘れないでください。
2. 実験・実習の記録、作品、レポートなどは指定した期日を守って提出してください。
3. 家庭科は生活課題を学習の対象としています。毎日の生活に常に関心をもってください。
4. 学習の成果を実生活へつないでください。自分の身の回りのことは自分で行いましょう。それが精神的自立、生活的自立の基礎です。

情 報

本校では1年生で情報Ⅰを学習します。

◆学習のねらい

これからの時代は、情報化、グローバル化が進展し、多様な事象が複雑さを増す中、進化した人工知能(AI)が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化されるIoTが広がったりするなど、新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測もされている。

こうした状況を踏まえ、資質・能力として「情報活用能力」を位置付けるとともに、これからの時代に必要な資質・能力を身に付けることをねらいとする。

この教科では、座学と実習をとおして情報社会に対応できる力を育成します。

1年生のみなさん、入学おめでとうございます。いよいよ北陵での高校生活が始まります。今は受験を終えて、ほっとしていると同時にこれからの高校生活に期待と不安を抱いていることでしょう。

おそらく、これから過ごす3年間は楽しいことばかりではありません。友人関係で傷ついたり、進路のことで悩み、勉強に行きづまってしまうこともあるでしょう。しかし、人との関わりを避けたり、大切な勉強を疎かにしては、人として成長することはできません。今はまだ、自分の将来を想像できなくても、目の前にある課題に全力で挑戦し、そのひとつひとつを克服していくようにしましょう。そうすれば、自ずと道は開けてゆくものです。もちろん、困ったり悩んだりすることがあれば、北陵高校の先生に相談してください。答えをあげることはできないかもしれませんが、一緒に悩むことができます。待っています。

3年後、みなさんが「自分は北陵で精一杯やった」という自信と誇りを持ち、胸を張ってこの学舎から巣立ってゆくことを期待しています。

◆高校は何をすところか？

勉強、部活、学校行事など、高校で学ぶことは様々ですが、その全てに共通する一番大きな目的は『自分を創る』ことです。

勉強することで知性と教養にあふれた自分を創り、スポーツや文化活動を通じて、逞しい肉体と感性豊かな人間性を創り、規律に則った学校生活から調和と規範意識を学び、社会生活の中で自己の才能を発揮できる自分を創る。

これが北陵高校の目指す学校教育目標「1. 自己を開く 2. 知を啓く 3. 未来を拓く」、スローガン「自分を、ひらけ。」なのです。

不満や戸惑いを感じることもあるでしょう。しかし、そのすべてが『自分創り』のための学びなのだということを忘れないでください。

◆高校卒業後の進路を考えよう

入学したばかりなのにもう卒業後のこと？と思うかもしれませんが、卒業後の進路は常に意識しておくべき問題です。卒業生の多くが、1年のときからもっと進路のことを考えておけばよかった…と後悔の言葉を口にします。普通科の高校で学ぶこと（特に勉強の内容）は、どこの学校でも基本的に大きく変わるものではありません。しかし、大切なことは「何を学んだか」よりも「どう学んだか」です。3年間の学びの成果が問われる卒業後の進路は、あなたの人生に大きな影響を与えるものになります。高校の3年間は人生の方向性を決める時期なのです。大切な高校生活の日々を1日たりとも無駄に過ごしてはなりません。目標をもち仲間と学び合い、保護者の方と相談しながら進路の方向性を決めていきましょう。

進路決定のためには、次の三つの段階があります。

自己理解

まず、自分の持ち味を客観的に評価できるようになりましょう。

高校は社会人になるための土台づくりの時期です。日々の学校生活（授業・講習、学校行事・部活動など）の中で自分を磨き、理想とする将来の姿に近づく努力をしましょう。そうすれば、自分の伸ばすべき長所・改善すべき短所ともに見えてくるはずです。

職業・学問研究

興味・関心のある職業について幅広く研究し、将来自分が就きたい職業を探してみましょう。さらに、その職業に就くためには、どのような適性が必要で、どのような学問を修めるべきかを研究しましょう。

進路実現

進路目標を立てたならば、その実現に向けて対策を練り、すぐに一步を踏み出しましょう。その歩みを止めずに、粘り強く進み続けることが、みなさんの進路実現につながります。目標実現のための粘り強い努力は、その後のみなさんの人生を豊かにし、可能性を最大限に広げるはずです。

◆進学のための準備

進学には、大きく分けて大学進学と各種専修学校進学があります。大学では研究機関として評価が高く、学生一人一人への教育予算の厚い国公立大学に人気が集中しています。各種専修学校では、看護師、理学・作業療法士養成などの医療技術系に進む人が多いのが最近の傾向です。

国公立大学の入学試験は、高校受験とは比べものにはならないほど厳しく、国公立大学への進学を果たすためには、1年生の時期から計画的に学習していくことが必須です。では、「1年生から計画的に行わなければならない進学のための準備」とは何でしょう？それは特別な受験勉強などではなく、日頃の授業です。小さなことを積み重ねることによってやがて大きな目標を達成できるまでになっているはずです。そして、ただ授業や講習を受け、用意された課題を待つのではなく、自ら次に何をすべきかを常に考え、行動してください。

また、進路指導室には豊富な進路情報が整っています。赤本などの過去問題集はもちろん、各大学・専修学校の案内や募集要項、進路関連雑誌、冊子、生徒用のパソコンではインターネット検索や先輩方の受験報告書を閲覧・印刷することもできます。進路指導室を十分に活用して下さい。

◆将来社会に出るための準備

AI（人工知能）の普及に象徴される現代社会の劇的な変化に対応できる社会人の育成をめざして大学入試や大学教育も大きく変わろうとしています。

大学入試について言えば、知識だけではなく、「高校時代に何に興味を持ち」「仲間と共にどのように学びを深めたのか」を評価して合否を決める新たな入試方法も導入されます。

自分の心を開いて他者の意見にも耳を傾け、他者との対話を通じて自己を客観化し自分の考え方を磨いていけるという資質は上級学校や社会人になっても必ず必要とされるものです。進路指導部では座学の授業だけでは培うことのできない「調和の取れた人格形成」のために様々な行事を企画し、皆さんの進路実現を応援しています。

◆1年生の主な進路活動予定（令和4年より）

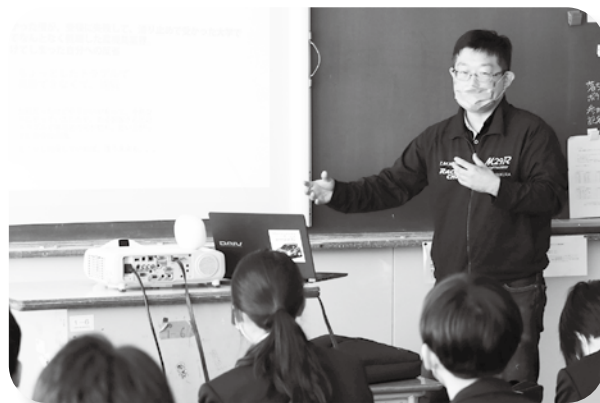
- | | | | |
|-----|------------|------------|-----------|
| 4月 | スタディーサポート① | 職業適性診断 | 進路希望調査① |
| 6月 | 学問職業研究 | 進路集会 | |
| 7月 | 7月進研模試 | 夏期講習 | |
| 9月 | 進学ライブ | | |
| 10月 | OB講話 | | |
| 11月 | 11月進研模試 | 進路希望調査② | |
| 12月 | 冬期講習 | | |
| 1月 | 1月進研模試 | | |
| 3月 | スタディーサポート② | ポートフォリオまとめ | （1年の振り返り） |

【進路グループが企画する行事】

進路ガイダンス、進路講話、進路講演会、大学説明会など



進路ガイダンス



OB講話

卒業生の進路状況

49期(令和5年3月卒業)生 大学・短大・専修学校・就職の現役合格者数(令和5年3月31日集計)

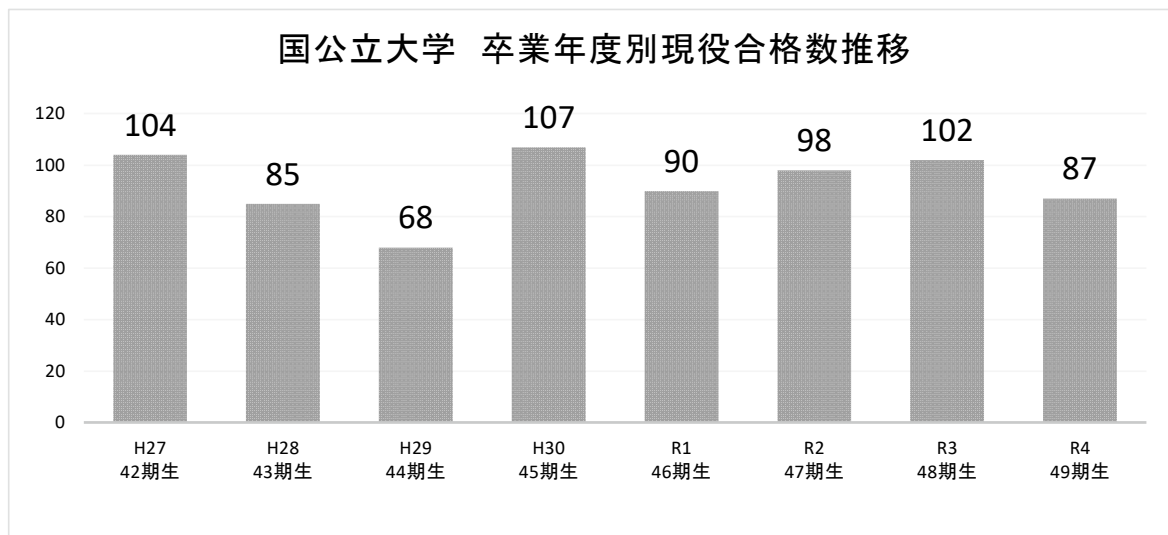
国公立大学	合格者数
北海道大学	3
小樽商科大学	13
北海道教育大学札幌校	5
北海道教育大学旭川校	2
北海道教育大学岩見沢校	2
北海道教育大学函館校	4
帯広畜産大学	1
室蘭工業大学	11
北見工業大学	5
札幌医科大学	1
札幌市立大学	2
旭川市立大学	1
名寄市立大学	3
千歳科学技術大学	7
はこだて未来大学	3
釧路公立大学	10
弘前大学	1
岩手大学	2
山形大学	2
信州大学	2
宮崎大学	1
金沢大学	1
鹿児島大学	1
青森公立大学	1
高崎経済大学	1
前橋工科大学	1
愛知県立大学	1
合 計	87

私立大学	合格者数
札幌学院大	15
札幌国際大	3
札幌大	9
札幌大谷大	2
札幌保健医療大	6
星槎道都大	4
千歳リハビリ大	3
藤女子大	22
日赤北海道看大	1
日本医療科学大	1
日本医療大	16
日本大	2
北海学園大	104
北海商大	3
北海道医療大	29
北海道科学大	134
北海道情報大	6
北海道文教大	6
北星学園大	22
北翔大	8
天使大	5
東海大	1
同志社大	1
法政大	2
関西学院大	1
京都橘大	1
国学院大	1
新潟医療福祉大	1
成蹊大	2
聖泉大	1
創価大	5
大阪芸大	1
大東文化大	1
長浜バイオ大	2
東京農大	1
東京有明医療大	1
武蔵野大	1
合 計	424

短期大学	合格者数
北海道武蔵女短	8
北星学園大短大	1
札幌大谷大短大	1
合 計	10

専門学校	合格者数
医療系(看護)	17
医療系(医療技術)	6
簿記・情報・建築・ビジネス系	6
ファッション・芸術系	7
その他	2
合 計	38

公務員・その他	合格者数
北海道開発局	1
税務職員	1
札幌出入国管理局	1
裁判所職員	1
法務省	1
北海道警察	3
石狩市職員	1
小樽市職員	1
北広島市職員	1
合 計	11



図書館は、みなさんの勉強や教養のために必要な図書・資料を収集し、利用しやすいよう整理された施設です。

読書は、新しい知識をもたらしてくれるとともに、考えるためのヒントを与えてくれます。自ら学ぼうとする高校生にとって図書館は大きな喜びとなるでしょう。

時には、心のリフレッシュに、気軽に図書館を活用してください。

《注意事項》

- ・館内では静粛にし、他の利用者に迷惑をかけないように心がけましょう。
- ・利用する資料（本・雑誌・新聞等）は大切に扱い必ず元の位置に戻しましょう。
- ・飲食物の持ち込みは禁止です。

《資料の概要》

現在図書館には、図書約23000冊、雑誌12種などの資料があります。

1. 図書館にある本は、日本十進分類法（N. D. C）によって分類され、整理されています。

2. 雑誌

文藝春秋 ダ・ヴィンチ
 イングリッシュジャーナル ニュースがわかる
 芸術新潮 スクリーン P i a n o
 ナンバー A E R A 日経エンタテインメント
 ニュートン 日経P C 2 1 など

3. 新聞

朝日新聞 読売新聞 毎日新聞 北海道新聞 読売中高生新聞

4. その他

郷土資料 進路関係図書などを配置



日本十進分類法

(N.D.C.)

000	総	記
100	哲	学
200	歴	史
300	社会科学	
400	自然科学	
500	工	学
600	産	業
700	芸	術
800	語	学
900	文	学

開館時間

月曜日～金曜日 9:00～16:50

学校行事、定期考査、長期休業中などについては、その都度お知らせします。

貸出

昼休み、放課後行います。(一般図書、雑誌のバックナンバー)

貸し出し冊数 5冊まで

期 間 1週間まで

予約

借りたい本が貸し出されている場合は予約ができます。

リクエスト

読みたい本がないときには、リクエストすることができます。

返却

開館中はいつでもカウンターで返却できます。

返却日は必ず守ってください。

紛失・破損

図書を紛失、破損した場合には、現品で弁償になります。

直ちにお知らせください。

インターネット

インターネット専用でパソコンが使えます。

インターネット上には、たくさんの情報が氾濫しています。

正しい情報が伝えられているか、十分注意しながら上手に使いましょう。

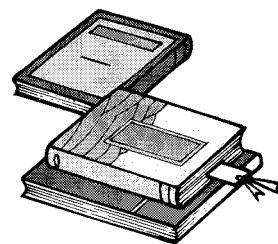
蔵書検索

自宅のPC(ネット接続)から北陵高校図書館の蔵書検索ができます。

方法は以下の通りです。

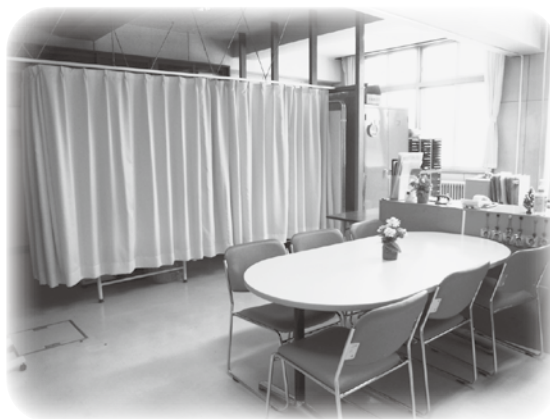
- ① URL <https://www.eslip.jp> へ アクセス
(検索サイトからキーワード「e-slip」と入力してもアクセスできます。)
- ② ユーザー ID 「U0117723051」(Uは大文字で入力してください)
パスワード「fumikura」を入力してログインします。
- ③ 書籍検索画面が表示されますが、上のメニューから「蔵書検索」を選びクリックしてください。(北陵高校図書館の蔵書が検索できます。)
- ④ 探したい本の書名や、著者名等を入力し検索ができます。

資料が見つからない、
資料の使い方がわからない、
調べ方がわからない時は
気軽に係に声をかけてください！



※図書館の利用に関してわからない場合は図書室カウンター内の係に聞いてください。

保健室は、生徒が自分の健康に関心を持ち、健康な学校生活を送ることが出来るよう支援する場です。上手に活用してください。



◆充実した学校生活を送るために

1. 規則正しい生活をして、健康に学校生活が送れるように努めましょう。
2. 困ったことがあった時は、まわりの人に相談するなどして一人で抱え込まず、生き生きとした生活が送れるようにしましょう。
3. 成長期の高校生には、栄養価の高い、バランスの取れた食事がが必要です。三度の規則正しい食事を取ることで、また昼食は弁当持参が出来るように、自分で作ったり、または保護者の方に協力をしてもらいましょう。

◆自己管理をしっかり行いましょう

1. 朝から体調が悪い時は自宅で体温測定を行い、授業を受けられる状況かどうかを、登校前に自分で判断するよう習慣づけましょう。
2. 4月から6月にかけて健康診断が実施されます。自分の健康状態を把握し、病気の予防・治療に役立ててください。検査の結果、精密検査または再検査の指示を受けた人は、早めに専門機関を受診しましょう。

◆日本スポーツ振興センターについて

学校管理下（登下校含む）で災害が発生し病院で受診した場合、医療費が給付される制度です。提出に必要な書類は保健室にありますので担任の先生に伝えた上で、書類を取りに来て下さい。その際、手続きに関する説明を行います。

◆保健室利用について

1. 保健室は、なるべく休み時間に利用しましょう。
2. 授業の始まる直前、または授業中に保健室に来室する場合は、教科担任に直接、自分で伝えてから来室しましょう。
3. 保健室来室時には、「保健室連絡票」を記入します。処置を受けた後、授業に戻る場合は教科担任に、始業前・休み時間・放課後については担任の先生に「保健室連絡票」を手渡してください。授業中の保健室利用の時間が出席時数と関わってくることもありますので、日頃から体調管理をしっかり行いましょう。
4. 保健室での休養は、回復の見込みがある場合の原則1時間以内を目安としています。保健室で休養した場合、または手当てを受けた場合は、当日中に必ず保護者に報告しましょう。

◆開かれた部屋……相談室

本校には相談室があり、教育相談担当の先生が在室しています。また、月2回カウンセラーの先生が来校します。

迷いや悩みなどがある時、人に話してみると心が楽になることがあります。さらに、自分の問題が整理されたり、解決の道が見つかったりすることもあります。

相談室の利用に難しいルールはありません。いつでも、気軽に利用してください。

◆相談で大事にしていること

1. あなたの話をよく聴き、あなたと一緒に考えます。
2. あなたが知られたくないことは秘密を厳守します。
3. あなたの希望に添うようにします。たとえば、日時や相談したい先生などです。
4. あなただけでなく、保護者の方とも相談が可能です。ご家庭の方にも伝えてください。

◆北陵高校の相談室

北陵高校では開校時から「ひとりひとりを大切にし、その特性を育てる」という理念に基づいて教育相談活動が行われてきました。相談室で話をするすることで、自分を取り戻したり、将来の生き方を見つけ卒業していった多くの先輩がいます。

◆思春期にあるあなたのこと

1. 身体的成長と精神的成長

身長がどんどん伸びる身体的な成長とともに、大人に近づいているという精神的な成長に自覚を持ち始めていることでしょう。しかし、周囲の人からは認められえず、緊張や対立関係が生じることもあります。

2. 性の発達と不安

男性らしい・女性らしい特徴が目立ってくる時期です。発達が著しいため、自己の性的な発達を肯定的に受け入れられず、不安や自己嫌悪に陥ることもある時期です。

3. 知的発達

知的欲求も旺盛で、様々なことに対する見方も変化していきます。前向き・創造的に生きていくために、自己を磨いていける時期でもあります。

4. 自己の確立と価値観

関心を自分自身の内面に向け始めます。そして、今まで与えられてきた価値観を見直して、自分なりの価値観を築こうとします。つまり自覚的人間として成長しはじめる時期です。

清掃状況を見れば学校の「ひとがら」が分かると言われます。毎日の清掃活動が「みんな」大切にされているかどうかで、その学校の「こころ」の状態が推測できるということなのです。

北陵高校の「みんなが」3年間過ごす「みんなの家」を、「みんな」快適にして生き生きとした空間作り、環境作りをしようとする「おもいやり」の現れが、つまりは清掃活動といえるのです。

さあ、「おもいやり」で北陵高校を磨きましょう。

◆清掃の要領

♥教室♥

①ほうき・モップがけ

【机、椅子の後方移動と前方移動】

②雑巾がけ【机、チョーク受け、棚等】

→雑巾の洗いは、汚水捨て場に
(水飲み場には捨てない)

③ゴミ捨て→「公務補室横」

(1階東側・校長室前)

④整理整頓【机、椅子、棚、本棚等】

⑤教室前廊下のほうき・モップがけ

⑥窓の施錠・カーテン開放

♥特別教室♥

①普通教室に準じる教室は、上記通り

②その他は担当の先生の指示による

◆ゴミの分別処理

*可燃物

*資源ゴミ (ビン・缶・ペットボトル)

【エコキャップ回収800個でワクチン1人分】

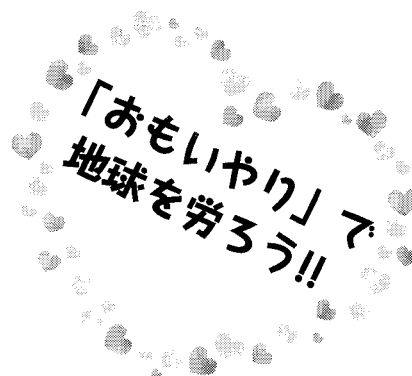
*不燃物…上記以外の物

→「公務補室横」(1階東側・校長室前)

◆黒板消しクリーナーの清掃

*クリーナー内の吸塵袋のチョーク粉は、袋に入れ指定場所に捨てる

*吸塵袋は、汚水場で洗って教室内に干す
(水飲み場では洗わない)



— 大自然と歴史にふれよう —

◆見学旅行

郷土を離れ、関西方面を中心とする旅行を通じて、教科の学習および教科外活動をより一層深くかつ広くすることと、私たちの生活の中に生きている日本文化遺産等を正しく認識することが大切です。この旅行は「移動教室」であり、「研修の場」でもあるため、各グループにわかれて「研修のテーマ」を設定し「自主研修」をすることになっています。

1. 期 日 令和6年10月2日～5日
2. 場 所 関西方面
3. 参加者 2年生全員
4. ねらい
 - (1) 日常の教科学習を深め、広げる。
 - (2) 自主的な研修活動により、自立性・協調性をはかる。
 - (3) 集団生活の秩序を学び、相互の親和をはかる。
 - (4) 我が国の文化遺産にふれ、理解を深める。



sapporo hokuryou 生徒会は生徒全員が主体的に参加して sapporo hokuryou
創り上げる活動です

◆生徒会とは

生徒会には生徒全員が所属します。一人一人が北陵高校生徒会の一員であるということを自覚して、生徒会活動に積極的に参加して欲しいと思います。

さて、生徒会活動に参加するとは具体的にどういうことでしょうか。例をいくつかあげてみましょう。「生徒会本部役員として生徒会の運営に携わること」、「各委員会の委員やHRの役員として校内・クラス内の仕事を担当すること」、「部活動に所属して頑張ること」、「北陵祭や体育大会などの生徒会行事に一生懸命取り組むこと」、「生徒総会で議長団を担当して議事を進行すること」等々、実は学校生活の様々な場面に活動の場が用意されていて、それぞれで頑張ることで学校全体を盛り上げるのが生徒会活動なのです。

高校生活を、充実したものにしていくためにも、みなさんの力を生徒会活動に発揮してください。みなさんの自覚と積極的な参加が、生徒会活動を活発にする原動力です。

◆生徒会のしくみ

生徒会の最高議決機関は生徒総会です。しかし、年1回の開催なので、通常の決議事項は、各HRから2名ずつ選出される代表委員会によって審議・議決されます。

生徒会行事の企画・運営など、通常の生徒会業務は本部役員が担当します。本部役員の構成は、会長、副会長、経理部長・次長、庶務部長・次長、および本部部員からなり、本部部員以外は選挙で、全校生徒の投票によって選出されます。「本部部員」は、本校独自のシステムで、新入生（2年生からの参加もあります）のうち生徒会活動に興味のある生徒が4月当初から生徒会本部の活動に参加するものです。

新入生のみなさんで、生徒会に興味のある人は、是非「本部部員」となって、すぐにでも生徒会活動に力を発揮してください。



生徒総会



中学生へ生徒会を紹介（学校公開）



生徒会の交流



生徒会室の様子

対面オリエンテーション

入学式の翌日に実施される新入生と2・3年生の顔合わせの会です。生徒会本部の活動や各行事の説明が行われます。また、工夫を凝らした歓迎のアトラクションや各部活動からの勧誘が行われます。

生徒総会

生徒会最高決議の場です。1年間の生徒会活動方針や予算など、生徒会の重要な取り決めが行われます。

高体連壮行会

高体連大会に出場する選手達に温かい声援を送る会です。選手達からは試合に臨むしっかりとした決意が述べられます。

北陵祭

学校全体が一丸となって取り組む生徒会最大の行事です。行灯行列と前夜祭に始まる3日間、クラスパフォーマンス、展示、有志発表、食堂、学級旗など盛りだくさんの内容で盛り上がります。

体育大会

北陵祭と並ぶ生徒会の2大行事です。運営は体育委員会が中心となって行います。サッカー、ソフトボール、バレー、バスケット、ドッジボール、玉入れ、リレーなどの種目に、クラス対抗で2日間の熱い戦いを繰り広げます。



対面式



高体連壮行会



北陵祭



体育祭

簡単に本校生徒会について説明しました。自分の生徒会活動の目標が決まりましたでしょうか。高校は勉強をするだけの場所ではありません。委員会活動や部活動、生徒会行事など、生徒会活動にもみなさんの力を注いで欲しいと思います。

3年間の高校生活を充実した実りあるものにするためにも、一人一人が積極的に生徒会活動に参加して活動を創り上げてください。みなさんの活躍を期待しています。

本校の部・局・同好会活動

現在、本校の部活動としては、外局3、部23（運動系16、文化系7）、同好会1があり、活発な活動を展開しています。本校生徒の部活動加入率はおよそ80%で、多くの生徒が部・局・同好会に所属し、勉強と両立して頑張っています。

このように、部活動が盛んなのは、本校の生徒が「勉強も部活動も頑張る」という積極的な高校生活を送っている現れだと思います。みなさんも、部活動に積極的に参加して頑張ってください。

◆野球部…現在部

員23名（3年生10名2年生13名）です。冬季練習では雪深いグラウンドを走り、ノックを受け、素振りやティーバッティング、バドミ



ントンのシャトル打ち、室内練習場でのバッティング練習、校舎内ではトレーニング室を使用し体幹トレーニング、筋肥大・筋力アップトレーニングと毎日厳しい練習の中で技術・体力・精神力を向上させてきました。野球ばかりではありません。勉強面も疎かにせず両立しています。白球に夢を託し夏の大舞台へ向けて、選手一人ひとり真剣に練習に取り組んでいます。新入生のみなさんの経験の有無は問いません。本気で野球が好きで3年間頑張れるあなた！グラウンドで待っています！！なお、坊主頭強要はしていません。

◆陸上競技部…陸上競技とは自己との戦い。そ

して記録への挑戦。それは技術や体力だけでなく心をも磨くこと。私たちは人間力を高めることが競技力の向上に通じると信じ、日々練習に励んでいます。毎年のように全道・全国大会出場者を輩出し、その頑張りを継続して国公立大学進学者も多数おり、勉強との両立も達成しています。陸上競技には走・跳・投・歩と多くの種目があり、きっと自分に合った種目が見つかると思います。コンマ1秒、1センチでも過去の自分を超越の喜びを一緒に味わいませんか。そして共に全道、全国を目指しましょう。現在部員21名（3年生13名2年生8名）。



◆サッカー部…全道大会出場を目標に大雨や吹雪でグラウンド

を使えない時を除き、外で練習しています。その中で技術・体力のみならず、礼儀作法やマナー・モラル等も身につけるように心がけています。また、冬休みには東京に遠征合宿に行きます。楽しくそして厳しく自分を磨きませんか。グラウンドで待っています！



◆**バレーボール部**（男子）…私たちは何をやりたいのか。そのためにどんな努力が必要か。高校に入学し、それらを1つずつ自分の意思で決め実行していくことが必要です。技術向上、体づくり、精神力。ひとつひとつの努力の積み重ねで目標が達成されていくことを、バレーを通して学んでみませんか？



◆**バレーボール部**（女子）…私たち女子バレーボール部は、札幌地区ベスト8・全道出場を目標に日々練習に取り組んでいます。基本技術や体力の向上はもちろん、コートの中で自分で“判断”をして行動できるようになるため、日々の練習に励んでいます。



◆**男子バドミントン部**…一本集中 一羽入魂という言葉通り一つ一つのショットに繊細さが求められるスポーツです。技術力のみならず、体力や精神力も日々の厳しい練習で鍛え上げ実戦で勝利を掴み取った時の嬉しさはひとしおです。是非一緒に汗を流し、バドミントンで青春しませんか。



◆**女子バドミントン部**…愛される女バド！感謝の気持ちをもって練習・試合に臨み、諦めない全力プレーで愛されるバドミントン部を目指しています。さあ個性的で素敵な部員とバドミントンで青春しましょう！



◆**ハンドボール部**（男女）…欧州ではサッカーと並ぶ人気スポーツ！スピーディーな動きとパスワーク。ゴール前で展開される激しい攻防。ダイナミックで華麗なシュート。体を張ってゴールを守るキーパー。投・走・跳・接触のすべてが必要な、正にスポーツの中のスポーツ。総合アスリート目指して、仲間と一緒に闘おう！全道・全国目指しましょう！



◆**男子バスケットボール部**…相手を抜き去るすばやいドリブル、ゴールを演出する華麗なパス、試合を決める勝負所でのシュート。日々の練習でひとつひとつ努力を積み重ね、最高の仲間と互いに技術と精神力を高め合っていきませんか？



◆**女子バスケットボール部**…放課後は、上靴からバスケットシューズに履き替え、ボール片手に体育館へ猛ダッシュ。練習中에서도笑顔が絶えない女バス。ゆるーく練習しているように見えてベスト16常連校。常にベスト8入りのチャンスを狙っています。あなたも一緒にバスケットに打ち込んでみませんか？



◆**弓道部**…的を見つめる視線“集中力”。何が起きようとも動揺のかけらも見せぬ“精神力”。そして的を貫く“気合い”。これらの一体化が弓道です。技術の上達につれて、内面的にも成長する。弓道は、こうした人間性の向上も促してくれます。的を射、そしてその中に真の自分を見てみませんか。全道大会や全国大会にも勝ち進んでいます。目指せ一番！



◆**硬式テニス部 (男子)**…青空のもと、おもいきりテニスしませんか。すっきりしますよ。良い汗を流しましょう。初心者大歓迎。仲良く上手になりましょう。男女ともに、いろいろな大会で活躍するようになってきました。みんなの力を合わせ、青春の一ページを飾りましょう。スマッシュ、ボレー、ロブ…。エースを狙うのは君だ！

◆**硬式テニス部 (女子)**…硬式テニスは、高校から始める初心者がとても多いスポーツです。テニス経験者、スポーツ経験者、中学で文化部だった人、どんな人でも大歓迎です！コンセプトは「楽しく前向きに練習し、心も体も強くなる！」です。合宿、遠征、練習試合、イベント…とにかく楽しいことがたくさんあるので、一緒に最高の時間を共有しませんか？



◆**ソフトテニス部**…初心者大歓迎！！もちろん経験者も大歓迎です。先輩、後輩仲のいい部活です。「うまくなりたい」という向上心のある人達が集まっています。毎年全道大会へ進出しています。ソフトテニス部でエースをねらおう！！



◆**卓球部**…一緒に卓球しませんか？初心者も経験者も大歓迎です！

大会にも積極的に出場しています。団体戦や個人戦があり、部員全員が出場し、練習の成果を発揮しています。練習を積み重ね、過去の自分に打ち勝ち、技術面、精神面共に成長することを目標の1つとして、一緒に活動しましょう！

ぜひ一度、練習を見に来てください！待っています！



◆**少林寺拳法部**…少林寺拳法の特徴である「力愛不二」（力のない愛は無力であり、愛なき力は暴力である）により、修行を通じて身体面の強さはもちろん、精神面も磨かれるため、人として成長することができます。また、少林寺拳法の技は、打撃技、固め技、投げ技など多種多彩で、力に頼らず身体をうまく使って技を行うため、男女問わず楽しみながら技を習得することができます。



ほとんどが高校生になってから少林寺拳法を始めた部員ばかりなので、未経験者はもちろん、運動が苦手な人でも十分楽しんで取り組むことができます。また、高校から始めても毎年全国大会に出場できている部活でもあります。

高校生になったことを機に「何か新しいことにチャレンジしたい」「今までの自分を変えたい」と思っている新入生にはぴったりの武道なので、是非気軽に格技場に見学に来てください！待っています！

◆**写真部**…人間は同じ顔を二度と作ることはできません。それは常に変化に富み、記憶にとどめておくことは困難です。瞬間の美しさをとらえ、わずかな動きも逃さず、生きた“その時”を撮るのです。思いついた時がシャッターチャンス。作品が出来た時も感動しますよ。

◆**漫画研究部**…主な活動として部誌を発行したり、イラストを描いたりしています。普段の活動はあまり目立ちませんが、文化祭では毎年大勢の人がこの部の展示を見に来てくれます。それに、やりとげた後の達成感や部の結束を高め、何物にも代えがたい思い出を残してくれます。興味のある方は、ぜひ社会科教室に来てください。

◆**自然科学部**…自然科学部では、様々な楽しい実験をしながら、サイエンスを楽しんでいます。高文連理科全道大会にも毎年参加し、今年度も全道大会に参加すべく研究活動をしています。平成13年・平成25年には全国大会に出場しています。高校生になってから始める人も多く、ちょっとマニアックな人も大歓迎。自然現象の解明、楽しく不思議な実験に興味のある人は、ぜひ入部してください。



◆**美術部**…皆さんは“美術部”と聞いてどんなイメージを持っていますか？ 北陵高校の美術部はきっと皆さんが想像する美術部とはちょっと違う美術部です。

経験も才能も全然関係ありません。サッカー部やバスケットボール部、バドミントン部など、中学校の時は運動系の部活動に所属していた人の方が多く、学年問わず仲の良い部活です。活動も、夏の高文連支部美術展、秋の全道美術展、チカホでのライブドローイング、道展U21、さっぽろ雪まつり、チカホでの校外展など、時には学校という枠を飛び越えて、とにかく年中なんか作ってます。

そんな活動が認められて（？）、芸人のサンドウィッチマンさんが来たり、24時間テレビから声がかかったりと、地味に札幌市内～石狩管内～全道でも、ちょっとは知られた美術部です。

将来、美術系大学に進学したい人や充実した高校生活を送りたい人だけでなく、ちょっと興味のある人も一度美術室に来てみてください。絶対に損はしない！！…と思います。



◆**茶道部**…裏千家淡交会准教授の先生の指導を受けています。学校祭や季節に合わせて茶会を開き、一服のお茶を差し上げることで、茶道部としての「もてなし」の心を実践しています。茶道の点前手順は、とても理にかなった、美しい所作です。毎日の活動を通じて、「和敬静寂」の精神を高めていけるよう努力しています。「和敬静寂」とは、お互いを敬い、清らかな気持ちで相手に接し、ものごとに動じない心のことです。学校茶道でできることは限られていますが、毎日忙しく過ぎていく中で、茶道を学ぶ時間を持ち、心にゆとりを取り戻しませんか。正座が苦手でも大丈夫です。2階作法室（畳の間）でお待ちしています。

◆**書道部**…札幌北陵高校書道部は、日常の練習に加えて毎年5～6月に行われる石狩支部研究大会、8月の石狩支部書道展に参加し、書道の技術向上と作品制作に励んでいます。8月の書道展では高文連全道大会に出品する作品の審査も行われます。ここ最近は全道大会に進む作品が毎年出ており、さらに全道大会でも受賞しています。また、北陵祭では書道パフォーマンスも披露しています。書道の好きな人は勿論、何かを表現してみたい人、落ち着いたひとときを過ごしたい人にも向いている部です。初心者も大歓迎です。一緒に書道の奥深さを楽しみましょう。

◆**合唱部**…「心に響くうた」が北陵合唱部のモットーです。合唱部は毎年、コーラスフェスティバル（6月）、高文連石狩地区演奏会（6月）、NHK全国学校音楽コンクール（8月）、北海道合唱コンクール（9月）、市民合唱祭（10月）に参加しています。2014年、2016年のNHK全国学校音楽コンクールでは札幌地区大会で「金賞」、Nコン北海道ブロックコンクールでは2014年に「銅賞」、2016年に「銀賞」を受賞。さらに、北海道合唱コンクールでは数度にわたって「金賞」、「銀賞」を受賞しています。また、屯田ミュージックフェスティバルなど地域との交流も大切にして活動しています。

そして、1年間の集大成として、毎年9月に札幌サンプラザコンサートホールで「定期演奏会」を開催しています。また、新入生歓迎遠足や夏合宿なども企画しています。楽しい仲間とともに素敵なハーモニーを奏で、うたを歌う喜びを分かち合いましょう！



◆**吹奏楽局**…私たち吹奏楽局は、外局としての校内における演奏をはじめ、校外においても様々な場で演奏活動を行っています。また、定期演奏会の開催や屯田ジュニアミュージックフェスティバル、北区ふれあいコンサート等、地域の方々をはじめ、多くの方々に私たちの演奏を聴いていただけるような活動を行っています。

このように私たちは演奏を通して、音楽を演奏することの楽しさを実感しています。「心あれ!」のスローガンのもと、これからも局員一丸となって日々前進していきたいと思っています。

音楽に興味のある人はぜひ、私たちと一緒に吹奏楽を楽しみましょう。



◆**図書局**…生徒会の外局活動として、日常の図書貸し出しなどを始め新刊図書紹介や貸し出し、館報『北陵らいぶらりい』の発行、ディスプレイの作成、図書研究大会への参加など、多彩な活動をしています。本を手にとり見てみるだけでもよろしいので、ぜひ一度図書館に来てみてください。待っています。

◆**放送局**…先輩後輩が協力して、昼休みの校内放送などに取り組んだり、行事のアナウンス、学校祭のビデオ編集を行っています。また、春と秋の放送地区大会に向け、アナウンス・朗読の練習をしたり、企画の構想を練っています。アナウンス・朗読だけでなく、映像編集に興味のある人は、一緒に活動してみませんか。

同 好 会

◆**チアリーディング同好会**…チアには、大きく分けて「ダンス」・「スタンツ」の要素があります。見た目は華やかですが、筋力・柔軟性・体力を必要とするスポーツです。私たちは主に生徒会行事、ボランティア活動などで演技してきました。チアの魅力は仲間とステージで演技しきった時の達成感!そして信頼しあえる仲間ができること!今は体が硬くても、筋力がなくても、ダンスができなくても…やる気さえあれば大丈夫です♪高校生活を楽しまたいと思う人は、チアに入って一緒に青春しましょう☆



本校には、ボランティア活動委員会があり、多様な活動を行っています。ボランティア委員が中心となって、全校生徒に様々なボランティア活動を呼び掛け、希望者が活動を行います。各クラスのボランティア委員が活動を呼びかけますので、積極的に参加しませんか！

「できるときに」「できる範囲で」やってみましょう！！



学び合って、支え合って、共に歩もう！



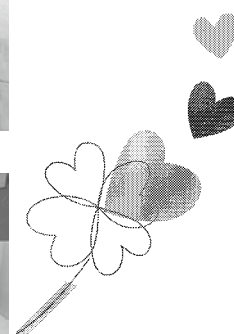
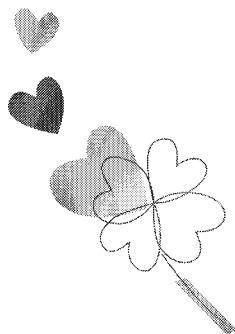
●校内：花壇整備・落ち葉拾い

校舎周りの清掃、花壇整備を5月に行っています。その後の手入れも大変ですが、放課後になると、自主的に雑草取りや水やりをしています。秋には、校舎周りの落ち葉拾いを行い、校舎の美化に努めています。



●地域：屯田大藤保育園との交流

本校に隣接しています屯田大藤保育園とも交流しています。保育ボランティア、絵本の読み聞かせ会を行っています。また、野球部による除雪ボランティア、雪像作りなどは北陵生にも貴重な体験ですが、園児たちもとても喜んでくれています。また、北陵祭の行灯製作を見学にきたり、かわいい訪問者に思わず笑顔になっています。



●地域：屯田北児童会館（屯珍館）との交流

屯珍館（屯田北児童会館）の冬の行事であるスノー&アイスクャンドルの会場設営のボランティアも例年行っています。サッカー部が活動しています。



※令和3年度はコロナの影響で全ての活動が中止になりましたが、落ち葉拾いボランティアのみ実施しました。

君も北陵生になろう!!

入学おめでとうございます。いよいよ北陵高校での生活がスタートしました。以下は、みなさんが北陵生の一員として身に付けるべきスキルをまとめたものです。今から半年後、各項目について自己評価をしてもらい、北陵生になれたかどうかを確認します。

I. 【北陵spirit】

1	「自立・敬愛・進取」	北陵高校の校訓を理解し、日々向上心をもって高校生活を送ることができている。
2	「道徳心」	安易に周りの意見に流されることなく、自分自身でよく考え、善悪の判断をすることができる。
3	「聴く力・考える力」	他者の意見は、きちんとした姿勢で聴き、その内容についてよく考え、自分なりの意見を持つことができる。
4	「基本的生活習慣」	遅刻をしない、下校時刻を守るなど、高校生としての基本的生活習慣を確立できている。
5	「素直な心」	親・教師・友人などから意見や忠告を受けたときには、素直な心でそれらを前向きに受け止めることができる。

II. 【学習&進路】

1	「学習サイクル」	授業を中心とした、予習→授業→復習の学習サイクルが、しっかりと身に付いている。
2	「家庭学習習慣」	平日2時間、休日3時間を目安に、日常的な家庭学習に取り組むことができている。
3	「課題提出」	宿題や課題に取り組む際には、手を抜くことなく、期限を守って提出している。
4	「定期考査」	定期考査に向けて早目に計画を立て、きちんとした対策をとることができている。
5	「模試の活用」	模試の結果分析や解き直しを行うなどして、自分の進路実現に向けた学習へとつなげることができている。

III. 【生活&安全】

1	「礼儀・挨拶」	いつでも、どこでも、誰にでも、自分から明るい挨拶を実践している。
2	「集団生活と環境整備」	集団生活のルールとマナーを守ることで、皆が落ち着いた環境で、快適な生活を送れるように努めている。
3	「交通安全意識」	登下校の際には、交通ルールを遵守し、安全に配慮して通学することができている。
4	「物品管理能力」	忘れ物や落し物をしないように注意し、自分の持ち物について、管理を徹底することができている。
5	「情報モラル」	ネット社会の危険性を理解し、スマートフォン等情報機器は、節度を守り正しく使用することができている。

IV. 【行事&課外活動】

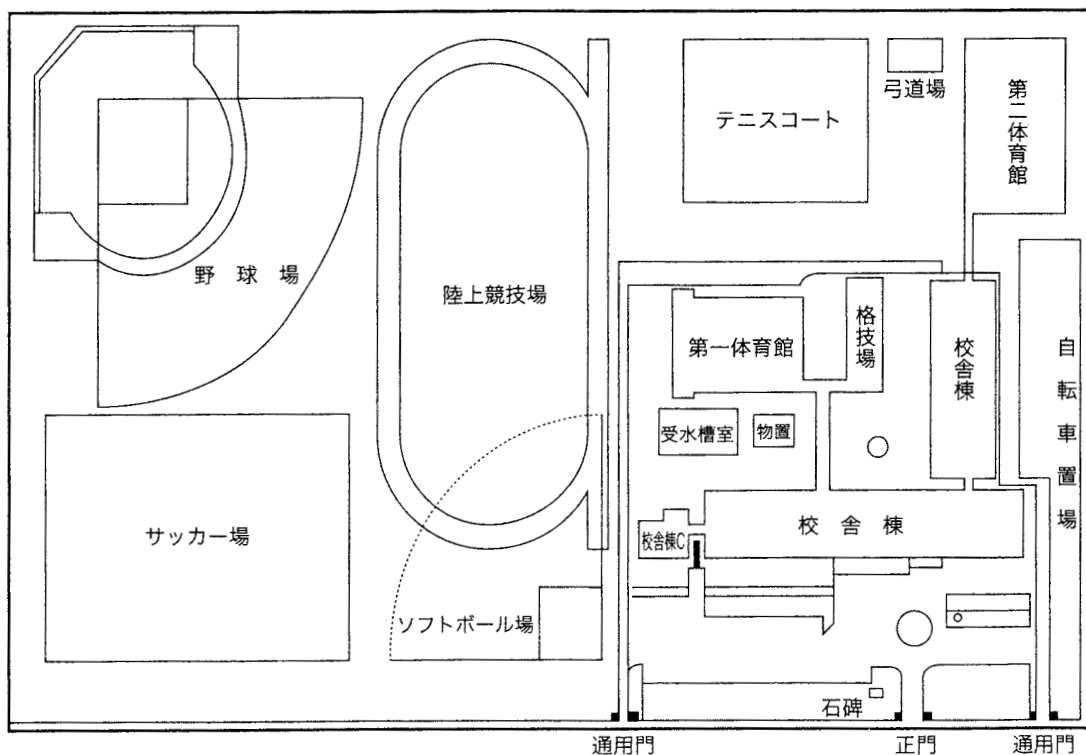
1	「学校祭での協力体制」	北陵祭では、自分の役割を果たし、仲間と協力しながら積極的に取り組むことができた。
2	「学校行事への積極的な参加」	宿泊研修や体育大会でも、その意義を理解して積極的に参加することができた。
3	「HR役員・係」	HRの役員・係として、自分がクラスに貢献できることを見つけ、行動することができている。
4	「課外活動」	授業以外に、部活動やボランティア活動などの課外活動にも、自ら進んで意欲的に取り組んでいる。
5	「勉強と部活動の両立」	勉強と部活動を両立することで、充実した高校生活を送ることができている。

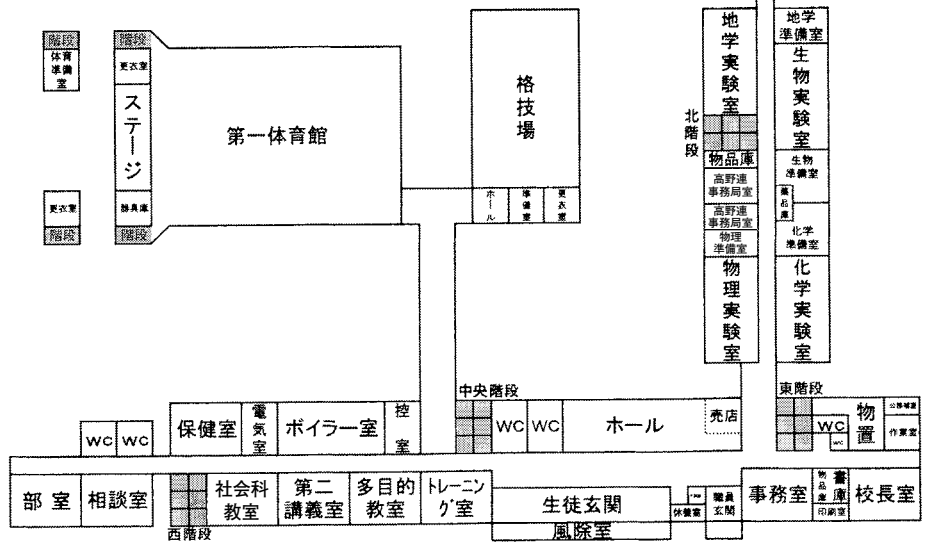
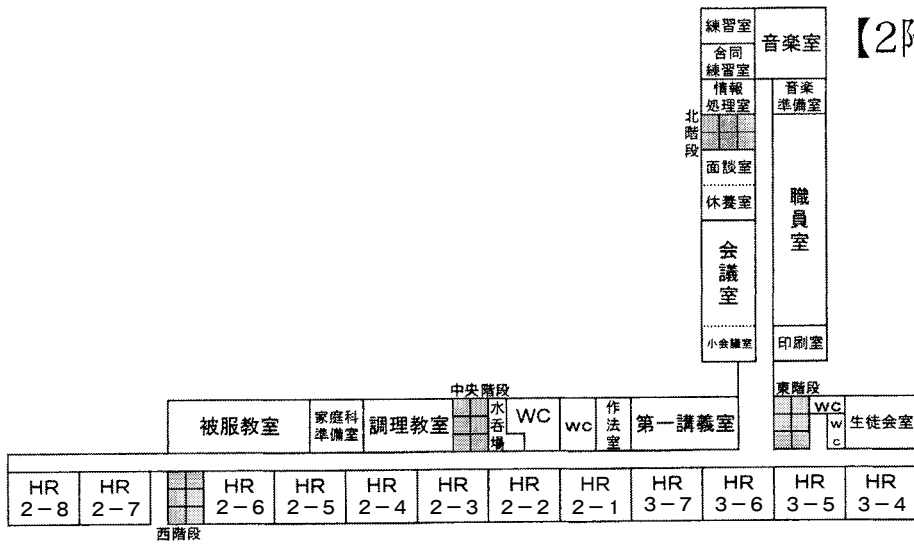
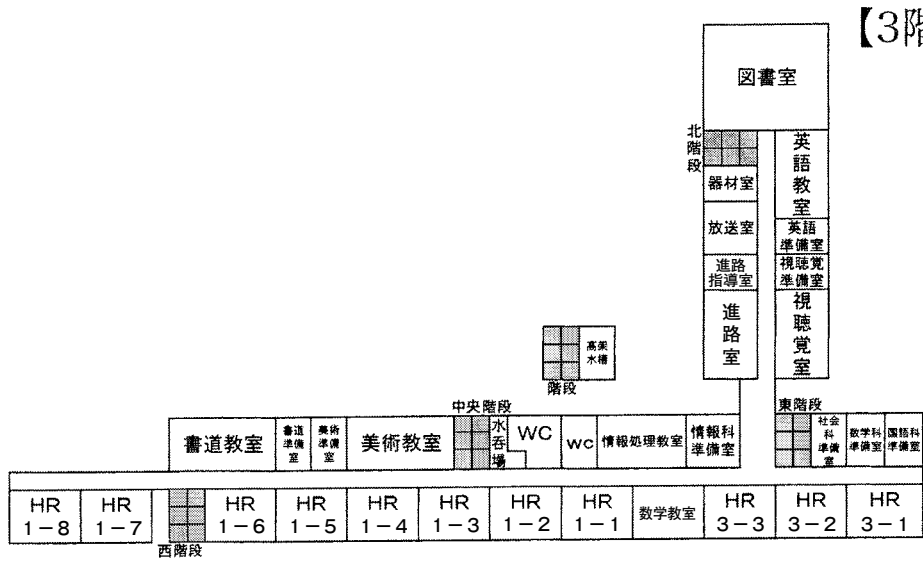
北陵高校の施設・設備・環境は毎年、少しずつ整備修繕されています。植えられた樹木の数、種類も豊富です。これらの木など大切に育てることは勿論、校内の施設を大事に使うようにしましょう。



このいちい（オンコ）の木は、開校五周年の祝賀行事の一環として植樹されました。当別付近の道有林を歩き回って見つけた樹齢二百年の銘木でした。北陵高校の生徒が大木のように風格のある立派な人間に育ってほしいという願いが込められています。

校舎配置図





北陵われら2023

令和5年4月1日 印刷

令和5年4月1日 発行

発行 〒002-0857
北海道札幌北陵高等学校
札幌市北区屯田7条8丁目5-1
TEL 011(772)3051

印刷 〒003-0802
株式会社正文舎
札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL 011(811)7151

